

# 市庁舎建設基金が取り崩され、 貴重な財源が赤字の市立柏原病院へ

## 柏原市が 危ない!

12月議会で、柏原市庁舎建設基金条例を廃止する条例が上程され賛成多数で可決された。  
(濱浦議員は反対)  
基金積立金約17億円が一般財源に繰り入れられ、その内の9億4000万円が市立病院に繰り出されたことになった。

柏原市は、これまで病院に、通常の繰り出し以外に約5億円を出金。今年特別償還分23億6千万円、赤字補填分として平成19年度末まで27億5千万円、合計51億1千万円。今回の繰り出しを入れると約60億円になる。平成26年度末の財政調整基金の残高は7億4千万円。今年度で2億円を取崩し、さらに、庁舎建設基金への償還分2億5千万円が予定されている。今後予想される扶助費等の増加による財源不足により、財政調整基金の残高は前任者から禅譲されながら何をしていったのか!

この様な、危機的状況になっているのに遅刻、早退、欠勤(市長には勤務規定はない)をしていた中野市長は、市長としての資質にかけているといわざるを得ない。就任約3年何をしていたのか。寛反省を!

がゼロとなるのは時間の問題である。今後、市立柏原病院に対して、これまでのように赤字補填の繰り出しはできない。今後、市税をはじめとする一般財源の伸びが見込めない、扶助費、各保険事業への繰り出し、少子高齢者対策に要する社会保障、公共施設の老朽化、耐震化に係る経費など、今後も増加が見込まれ、非常に厳しい収支状況、財政運営となっている。今年、財源不足になれば柏原市は赤字団体になるのである。

田古道の里山維持管理費、小中一貫校に対する諸問題、老朽化、サンヒル柏原の劣化したビルが使用不可になったりしない等、市政に対する諸問題が山積しているのに、今も同じ勤務状態を聞く。反省を!

## 市の収集委託業者が一部を「ハネ」!

### 市の焼却場へ行く前に 収集物を横領して換金か!?

現在、市と委託契約を結んでいる廃棄物収集業者が、一部の収集物を市の焼却場に運ばず、持ち帰っている所をスクープされた。換金するため以外に考えられない行為である。



①2015年7月AM7:23 資源物を運び分け。



②2015年7月AMB:02 箱に積み上げ。

### 収集したもののが全て 焼却場へ運ぶのがルール

市は、廃棄物の収集に關して、排出場所から焼却場の投入までの運搬を業者に委託している。その間、収集した廃棄物はいかなるものであっても、その業者は処分してはならない。きまりになっている。保っていたのである。

### 委託業者はY議員の親族 市はなぜ目をつぶるのか!

以前、ある委託業者がスチール板を収集したが、「不燃物集したところ、たまたま焼却場に持ち込めないう規定」に目撃し、その業者

は3日間の業務停止を受けた。今回は、規定に従っていったん降ろすたというような、やむを得ない事情ではなく、明らかに故意である。この業者は、柏原市のY議員の親族が経営しており、前岡

を科し、今回のような明らかでない反業者を管理もできず、処分しないことになれれば法の平等に反することになる。今後、公平・公正を圖ってきた市側の責任を追究したい。



③2015年7月AMB:21 事務所内に入ります。



④2015年7月PM4:23 リサイクル業者を持ち込む。

## 給食業者が6割も高い金額で 値上げをし、落札された!

4年前に地元業者を蹴散らし、283円という安い値段で落札。今回、6割アップの入札価格であった。他の入札業者もなく3年間、約2億円が契約が締結された。前回、落札できなかった地元業者は廃業に追い込まれた!

### 前回は1食283円、いきなり470円とは!

平成24年に、長年の声が上がっていた。市立保育所の給食を委託されていた地元業者が落札できず、廃業に追い込まれた。その時に他市の業者(日本誠食)が提示したのが1食283円。安いのが、「野菜の味がしない」「塩辛」など不評で食べ残しも多く、未来を担う子供どもたちに、こんなものを食べさせていいのかという疑問。原もこの業者が委託契約している。この時も入札はここだけだった。市側も入札が1社という事で、色々と創意工夫を図り努力したと思うが、やはり問題がある。今後は、マニュアルを作成し対応を考えるべきではないだろうか。全ては、市民の税金で賄われてる限り透明性が必要である。